

むのたけじ氏の障がい者女性への 差別発言を問う！

8/24(土)集会

講演 三井 絹子さん(差別発言を受けた当事者・かたつむりの会)

「北海道新聞労組主催の講演での、むのたけじ氏の自分に対する差別発言について言いたいことがあります。あの時は子どもが生まれ大変な状態で闘うことができなかったけれども、亡き井上ずさんが闘ってくれた。今こそ言っておきたい。」と三井絹子さん。

報告 上村 和子さん(国立市議)

平和運動家だった岡正治氏による生前の性暴力への告発を受け、岡まさはる記念長崎平和資料館から、長崎人権平和資料館に名称変更し再出発した経緯の報告をしていただきます。

「何10年経とうと、差別は風化しないんです」と上村さん。

地域から反戦平和を訴え続けたジャーナリストの亡きむのたけじ氏が、45年前北海道新聞労組主催の講演会で、重度障がい者女性に対する差別発言を行っていたことがわかりました。

昨年、交流会通信「Voice」が第5回「むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞」を受賞した際、むの氏の差別事件について会員から指摘を受けました。45年前に起きたことであっても、放置せずに直視しなければいけないと考えました。差別発言を浴びた当事者の三井さん（今なお障がい者差別の撤廃に向け活動されています）にお話を伺います。

また、30年前に亡くなった、長崎で平和運動の活動を行い牧師でもあった岡正治氏から性暴力を受けていたとの告発を受けとめ、名称変更して再出発した「長崎人権平和資料館」の経緯の報告と、二つの差別の共通する問題について上村さんからお話しいたします。

日時 8月24日(土)午後1時半～4時半(開場1時)

会場 スイングホール・スカイルーム(南棟10階)

(中央線武蔵境駅北口下車、西へ徒歩2分)

資料代500円

主催 **なくそう戸籍と婚外子差別・交流会**

連絡先 E-mail kouryu2-kai@ac.auone-net.jp

電話&FAX 0422-90-3698 (留守電対応)

交通・アクセス



○ JR中央線・武蔵境駅北口下車 西へ徒歩2分

※スイングビルには有料駐車場(30台分)がありますが、施設専用の駐車場はありません。